

cance of *Clostridium perfringens* as a pollution indicator of water. 「環境科学」研究報告書 B239—S901「人間と生物圏計画関連研究 1984—1985:80—81, 1985.

2) 佐々 学, 小西健一, 荻田善一, 五十嵐隆夫, 安野正之, 澁谷敏明, 石井 明: ユスリカ類の環境における動態, とくにアレルギー疾患との関連. 「環境科学」研究広報 32:56, 1985.

3) 小西健一, 山岸高由, 坂本憲市, 林 君枝, 久保義博: 水の汚染指標としてのウエルシュ菌の意義. 「環境科学」研究広報 32:109, 1985.

4) Sasa M., Konishi K., Ogita Z., Igarashi T. and Yasuno M.: The behavior of the chironomid midges in the environment, with special reference to their role as a cause of allergic diseases. Environmental Science 33:35, 1985.

5) Konishi K., Yamagishi T., Sakamoto K., Hayashi K. and Kubo Y.: Significance of *Clostridium perfringens* as a pollution-indicator of water. Environmental Science 33:88, 1985.

ウ イ ル ス 学

教 授 庭 山 清八郎
助 教 授 落 合 宏
助 手 林 京 子
助 手 坂 本 隆
文部技官 中 川 明 夫

◆ 原 著

1) 元田昭策, 落合 宏, 庭山清八郎: リボソームを用いた補体依存性免疫溶解反応によるワッセルマン抗体の測定. 新潟医学会雑誌 99:774—776, 1985.

2) Ochiai H., Hayashi K., Niwayama S., Saito M. and Masuyama K.: Isolation of hemagglutinin with neuraminidase activity from influenza A Aichi/2/68 (H₃N₂) strain: Acta Medica et Biologica. 33:1—7, 1985.

3) 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子: フェノチアジン系薬剤のインフルエンザウイルス増殖におよぼす影響に関する研究. 全国乳酸菌研究会報 218—222, 1985.

◆ 学会報告

1) 石川成明, 酒本 護, 片山 喬, 落合 宏, 庭山清八郎: *Chlamydia trachomatis* の分離と薬剤感受性について. 第327回日本泌尿器学会北陸地方

会, 1985, 7, 金沢.

2) 金森昌彦, 館崎慎一郎, 辻陽雄, 松井寿夫, 前田明夫, 落合 宏: Dunn 骨肉腫細胞の分化誘導に関する基礎的研究(第2報). 第18回骨軟部腫瘍研究会, 1985, 7, 仙台.

3) 斉藤光和, 真保 俊, 加藤 博, 小田切治世, 沢田石勝, 山田 明, 宗像周二, 唐木芳明, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 落合 宏: ヒト食道癌培養細胞における温度, 薬剤の影響. 第3回ヒト細胞研究会, 1985, 8, 東京.

4) 石川成明, 酒本 護, 片山 喬, 落合 宏, 庭山清八郎: トラコーマクラミジアの分離と抗生物質感受性について. 第7回北陸ウイルス病研究会, 1985, 10, 金沢.

5) 芝田充男, 落合 宏, 庭山清八郎, 佐藤征也, 元田昭策, 山内豊蔵, 岩瀬勇雄: 1985年分離のインフルエンザB型およびA(H₃N₂)型ウイルスの抗原分析と流行調査. 第33回日本ウイルス学会総会, 1985, 10, 東京.

6) 落合 宏, 林 京子, 元田昭策, 佐藤征也, 庭山清八郎: カルモデュリン阻害剤, フェノチアジンのインフルエンザウイルス増殖におよぼす影響. 第33回日本ウイルス学会総会, 1985, 10, 東京.

7) 田沢賢次, 鈴木康将, 沢田石勝, 増山喜一, 菅野延彦, 落合 宏, 藤巻雅夫: BRMとしての椎茸菌糸体培養物の温水抽出物LEM. 第23回日本癌治療学会総会, 1985, 11, 広島.

8) 石川成明, 酒本 護, 片山 喬, 落合 宏, 庭山清八郎: 泌尿器系からの *Chlamydia trachomatis* の分離と抗生物質感受性について. 第22回日本細菌学会中部支部総会, 1985, 11, 新潟.

9) 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子, 増山喜一, 斉藤光和, 松井寿夫: Benzaldehyde- β -cyclodextrin (KBC) の抗腫瘍活性—人工肺転移の抑制効果. 第22回日本細菌学会中部支部総会, 1985, 11, 新潟.

10) 元田昭策, 佐藤征也, 落合 宏, 林 京子, 庭山清八郎, 岩瀬勇雄: リボソームを用いた肺炎マイコプラズマ抗体の測定. 第22回日本細菌学会中部支部総会, 1985, 11, 新潟.

薬 理 学

教 授 中 西 颯 央
助 教 授 武 田 龍 司
助 手 百 瀬 弥寿徳
助 手 山 崎 弘 美
文部技官 西 口 慶 子

◆ 著 書

1) Remmers J.E., Takeda R., Schultz S.A. and Haji A.: Relationship of membrane potential of ventral respiratory group neurons to action potentials of retro-facial respiratory units, In Neurogenesis of Central Respiratory Rhythm, by Bianchi A.L. and Denavit-Saubié M. (Eds.), 117—120, MTA Press, Lancaster, 1985.

2) Takeda R., Remmers J.E., Baker, J.P., Madden K.P. and Farber J.P.: Post-synaptic potentials of bulbar respiratory neurons of the turtle, In Neurogenesis of Central Respiratory Rhythm, by Bianchi A.L. and Denavit-Saubié M. (Eds.), 186—188, MTA Press, Lancaster, 1985.

◆ 原 著

1) Yamazaki H., Nishiguchi K., Miyamoto R. and Nakanishi S.: Effect of chronic administration of acetaldehyde by inhalation on ($\text{Na}^+ + \text{K}^+$)-activated adenosine triphosphatase activity of rat brain membranes. *Toxicology* **34**: 277—284, 1985.

2) Yamazaki H., Nishiguchi K. and Nakanishi S.: Effect of acetaldehyde treatment in vivo on rat liver tryptophan oxygenase and tyrosine aminotransferase activities. *Jpn. J. Alcohol & Drug Dependence* **20**: 388—394, 1985.

3) Takeda R. and Haji A.: Dual effects of acetaldehyde on electrical activity in the isolated frog spinal cord. *Eur. J. Pharmacol.* **113**: 409—416, 1985.

4) Tojo H., Ogita Z. and Momose Y.: Comparison of the in vitro development of mouse single blastomeres with and without the zona pellucida. *Experientia* **41**: 108—109, 1985.

◆ 学会報告

1) 武田龍司: カメ (*Pseudemys scripta*) の延髄呼吸性ニューロンのシナプス後電位. 第58回日本薬理学会総会シンポジウム「呼吸の中枢性調節ニューロン機構の生理・薬理」, 1985, 3, 東京.

2) 武田龍司, Remmers J.E., 樋 彰: VRG 呼吸性ニューロンの膜電位と retro-facial 呼吸性ニューロン単位活動との関連. 第58回日本薬理学会総会, 1985, 3, 東京.

3) 山崎弘美, 西口慶子, 中西穎央: 薬物によるマウス障害肝のアルコール脱水素酵素及びアルデヒド脱水素酵素: 活性ならびに isozyme profile について. 第58回日本薬理学会総会, 1985, 3, 東京.

4) 百瀬弥寿徳, Giles W., 武田龍司: 心筋単一細胞におけるムスカリン依存性Kチャンネル. 第58回日本薬理学会総会, 1985, 3, 東京.

5) 武田龍司, 樋 彰: 脊髄ニューロンに対するアセトアルデヒドの二元作用. 第7回中部日本神経精神薬理学研究会, 1985, 6, 松本.

6) 有澤宗久, 二村雅之, 林 利光, 森田直賢, 百瀬弥寿徳, 武田龍司, 中西穎央: 市販蕪荻草の生理活性成分について. 第2回和漢医薬学会学術総会, 1985, 9, 京都.

7) 山崎弘美, 西口慶子, 中西穎央: マウス肝アルコール脱水素酵素およびアルデヒド脱水素酵素活性におよぼす肝細胞障害性薬物の影響. 第20回日本アルコール医学会総会, 1985, 10, 京都.

8) 百瀬弥寿徳, 武田龍司, 中西穎央: 心筋単一細胞の膜電位および膜電流におよぼすアセトアルデヒドの影響. 第20回日本アルコール医学会総会, 1985, 10, 京都.

9) 山崎弘美, 西口慶子, 中西穎央: ラット肝小葉実質細胞の分離法: 中心静脈領域および門脈領域細胞の選択的分離. 第36回日本薬理学会北部会, 1985, 10, 仙台.

◆ そ の 他

1) 中西穎央: アルコールの薬理学. 診断と治療 **73**: 6—9, 1985.

2) 中西穎央: Alcoholism の概念と基礎. アルコールと神経膜. *Clin. Neurosci.* **3**: 1071—1073, 1985.

3) 中西穎央: アルコールの薬理作用. 内科 **56**: 1016—1021, 1985.

保 健 医 学

教 授	渡 辺 正 男
助 教	鏡 森 定 信
助 手	濱 田 仁
助 手	成 瀬 優 知

◆ 原 著

1) 渡辺正男, 鏡森定信, 成瀬優知, 水野正明, 松井岳仁, 丸山晋吾, 沼野正浩, 前沢靖久, 水谷文彦, 新井田修久, 本藤 徹, 牧本充生, 三崎 究, 大浦栄次: 農薬の慢性生体影響に関する疫学調査(第2報). 富山県農村医学研究会誌 **16**: 102—112, 1985.

2) 本田幸子, 林美貴子, 渡辺正男: 小核試験法による突然変異原性の検討; (2)マラチオンの突然変